

ハード工業株式会社×青森県立八戸工業高等学校



38
インターンシップ
現場
体験記

仕事への熱意を肌で感じてみて

私たちは、ハード工業の最先端の工業技術を見てきて八戸の中小企業にもこれほど素晴らしい志と技術を持った会社があるのだと驚きました。工場の中の雰囲気も、社員の方々がそれぞれテキパキと協力して作業していて一体感がありました。社員の方々もとても居心地がいい環境だと語っていたことが印象的でした。

八戸工業高等学校 米田貴斗, 中村真也



先輩社員に
インタビュー

聞いてみた！ベテラン社員

「県外企業で働いていた時、家庭の事情から八戸へ帰ることに
なり、ハローワークの紹介で入社。当初は、技術レベルの高さに困惑したが、社員同士のつながりが強く、意見交換や相談しながら技術を磨ける環境で、とても働きやすく、そのおかげで一人前の技術者になることができました。」と話してくださいました。

新入社員

入社したきっかけは、「高校時代の恩師からの強い勧めで入社試験を受けたこと。入社当初は忙しいと思ったが、先輩方の指導の下、密にコミュニケーションをとりながら、また自分で勉強をしながら技術を磨いている。」と教えてくださいました。



KURASHI



機械加工課 小松 蓮さん

入社2年目。八戸工業高校材料技術科の先輩。入社当初は忙しいと思ったそうですが、先輩方の指導のもと、質問したり、意見を求めたり、相談したり、自分で勉強して技術を磨いているそうです。また、地域や人と人とのつながりを大切にするため、毎年欠かさず八戸三社大祭に参加しています。そのようなことも認めてくれるそうです。

先輩社員が選ぶ！ 三八地域の暮らしやすさBest3

- 1 家族と地域とのつながりを大切にできる
- 2 優しい人が多い
- 3 飯がうまい、お酒がおいしい！

社長の想い

当社の目標は「八戸の地で日本一の修理屋を目指す」こと。何をもち日本一とするのかは定義するのが難しいかもしれませんが、どこよりも速く完璧な修理を行うことで「日本一の修理屋を目指そう」と社員に言い続けています。最近では皆、「いけるぞ」という感じになっていて、実際、社員のポテンシャルを考えると、日本一は可能だと確信しています。しかし、関東の企業は機械修理の多くを関西方面に発注している現状があります。それはなぜか、東北へ発注するという考えが浮かばない、知らないからです。そこで「修理は北へ」というキャッチフレーズを唱え、他社には修理できないような機械を引き受け、迅速かつ完全な修理を実現すること、積極的に県外企業へ営業することで順調に受注を伸ばしています。

八戸は、東京からの距離は大阪と大差がない上に、東北自動車道は渋滞があまりないので、物が予定通りに届く。新幹線を使えば3時間で着く。太平洋側で雪もあまり降らない。あとは、全国各地に出張して気付きましたが八戸って飯がうまい(笑)。会社の技術的なことだけでなく、地理的な有利性がある。受注を増やして、八戸の素晴らしさを全国に広め、地域を活性化させたい。このような理由から、八戸の地で日本一の修理屋を目指したいと思っています。

高校生が伝えるハード工業の魅力



-修理は北へ- 八戸の地から 日本一の修理屋を目指して

ハード工業株式会社(1991年設立、従業員数31人、資本金500万円)は、プラント等の生産設備の修理・補修作業を生業とする企業である。金属などの材料を加熱して溶かし、対象物に吹き付けて皮膜を形成する表面処理法を「溶射」といい、その中でも特に表面を硬くするために、下地よりも硬い合金材料を溶射する処理法を「ハードフェーシング」という。その技術を軸に、大型機械・磨耗部品の完全修理を実現している。依頼があれば直接機械を引き取りに出向き、機械を分解し、消耗した部品を修繕・補強し、再度組み立て直した後、元の場所に再設置するところまで請け負っている。

日本一を目指す活気と一体感

【一体感がある】故障原因もいろいろなケースがあり、その修理方法も同じパターンは存在しない。そのため、一人一人が担当に責任を持ちながらも、お互いに発想や意見を出し合い、相談し合い、協力しなければ修理は完成しない。このような職場だからこそ一体感が生まれる。

【社員平均年齢35歳で活気がある】若手社員が増えたこともあるが、社員の平均年齢は約35歳と若い。年齢等に関係なく、各々がその状況や得意分野に応じて、リーダーシップを発揮しながら仕事をしている職場には活気がある。

【新しい技術を取り入れる】「常に新しい技術を追い求める」という経営理念を体現し、新しい技術を試してみる雰囲気がある。故意ではない失敗は悪いことではない。挑戦するからこそ失敗がある。失敗を責めていては新しいものは生まれない。新しい技術にチャレンジできる雰囲気がここにはある。自分で事業を興そうとしている社員にも寛容的で、会社も積極的に手助けをしている。

少人数だからできる

ある社員の方にインタビューをしたところ、「少人数」であることが魅力だと答えていた。社内の雰囲気はアットホームで、互いにコミュニケーションをとりながら効率よく作業ができる。また、社員一人一人を大切に、人材の育成にも重点を置いている。特に免許・資格取得を推奨し、費用補助をしている。社員の中には「溶射技能士」という国家資格をはじめ、20種類以上の資格を保有する方もいる。



三位一体でより完全な機械修理

強みは補修作業のほぼ全工程を社内で完結できることである。各工程を各分野別に対応する修理工場が多い中で、社内で溶射加工・電動機・機械加工部門が三位一体になることで、他社より短期間での補修・改善を実現している。

現在、最も力を入れているのは、溶射に使う材料(金属粉末)を産学連携で研究開発していること。故障した機械の使用環境によって「高温環境に強い材料」「腐食に強い材料」など欲しい材料は変わる。しかし、そのような材料は市販されておらず「無いなら自分たちで溶射材料を作ろう」となった。研究開発の成果の一部は実用化されており、お客様からも高評価を得ている。



(溶射加工部門) (電動機部門) (機械加工部門)

当たり！を引いた

お客さんから「ハード工業さんとの付き合いは『当たり！』を引いた気分」と評価をいただいたことがあるとのこと。これは、他社には修理できないような機械が来てても完全修理ができる技術、社内が一体となっていることのできる迅速な対応、機械の運搬～修理～再設置まで、ワンストップで発注できることへの評価である。その上でお客さんとの繋がりを大切に、コミュニケーションをとることによって、双方が満足できる環境づくりをし、高い評価を受けている。しかし、お客様から「近くに支社工場を建ててほしい」といった要望は断っているそう。理由は、お客様に八戸を知ってほしいから。八戸まで来てもらって、八戸の街、食事を楽しみ、人間性を知ってほしい。そうすれば八戸に限らず、東北全体に対するイメージが変わると思っている。

生産設備の補修作業で培った溶射技術を応用し、岩手大学や東北大学との産学共同研究を通じて、世界初の金属粉末製造プロセスを開発。多くの表彰を受けている。



会社 information (詳細は98ページへ)

会社名 ハード工業株式会社
所在地 八戸市沼館3丁目2-18
電話番号 0178-22-3379
FAX 0178-45-3479
Web hard-industry.com

